平成29年度事業報告

I 事業実施概要

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

2018年に開催する「福井しあわせ元気国体」に向けて、国体直前の強化練習会や冬期間における遠征等の競技力向上対策に取り組んできた。第72回国体では、26競技で入賞(昨年比5増)し総合得点1588.5点を獲得(参加点400点含)、天皇杯順位7位で目標を達成できた。また、第73回冬季国体ではアイスホッケーが国体初出場で15点を獲得し競技別天皇杯順位8位、スケート競技は76点を獲得し競技別天皇杯順位7位、スキー競技は24点を獲得し競技別天皇杯順位6位と大躍進し本国体へ勢いがついた。

第73回しあわせ元気国体総合優勝に向けて、競技団体代表者との意見交換も行いながら、県体協、県競技力向上対策本部委員会、競技団体が一体となって、選手確保を含めた競技力向上対策を推進した。

Ⅱ 事業内容

1 競技力向上事業

「福井県競技力向上基本計画」に基づき、積極的かつ効果的な事業展開を図った。

	・個月 不就及月间工座平面 国 「C座 っこ、慎極町が ラガ木町な事未成而で囚 った。			
	事業名	内容		
1	競技力向上	(1)国民体育大会、各種全国大会に向けた競技力の向上		
	対策事業	・国体強化対策事業 41 競技		
		・プレ強化事業 26 競技(1188.5 点)		
		・高校生トップアスリート確保事業 143名(18競技)		
		・ふくいナショナルアスリートマルチサポート事業 85名		
		(スーパーアスリート 61名、ナショナルアスリート 24名)		
		・特別強化コーチ配置事業 82名(25競技)		
		・専門トレーナー派遣事業 36 競技		
		・ふるさと選手支援事業 94 名(22 競技)		
		(2) ジュニア対策		
		・ジュニア育成強化事業 13 競技		
2	積善会スポー	(1)少年スポーツの振興		
	ツ振興事業	・ジュニアアスリートサポート事業 13名 (4競技)		

3	関係会議等	(1)	福井県競技力向上対策本部委員会
	開催事業		平成 29 年 4 月 25 日 福井県庁
			n 8月8日 福井県庁
			〃 11月27日 福井フェニックス・プラザ
		(2)	国体結果検討会
			平成 29 年 11 月 27 日 福井フェニックス・プラザ
		(3)	競技力向上個別検討会
			平成29年7月、10月、平成30年3月
		(4)	加盟団体理事長会議
			平成 30 年 3 月 16 日 福井県自治会館

2 国体等派遣事業

①国体派遣事業

国体に本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	選手団
第72回国民体育大会	平成 29 年 9 月 30 日~10 月 10 日 〈会期前実施〉9 月 9 日~17 日	愛媛県他	624名
学 70 日	〈スケート・アイスホッケー競技会〉	神奈川県	
第73回 国民体育大会冬季大会	平成 30 年 1 月 28 日~2 日 1 日	山梨県	97名
国 区	〈スキー競技会〉2 月 25 日~28 日	新潟県	

②北信越国体派遣事業

北信越国体に本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	選手団
第 38 回 北信越国民体育大会	<中心会期> 平成 29 年 8 月 25 日~27 日 <会期前実施>4 月 29 日~	福井県	725名

3 スポーツ医・科学関係事業

	事業名	内容
1	医・科学活用	国体候補選手、成年・ジュニア指定選手を対象に、スポーツ医・
	推進事業	科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、
		栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科
		学サポートの実践を通して競技力向上を図った。
		(1) メディカルチェック・フィットネスチェック
		福井国体までに2次検診を終えるため、2月にアンケートを送
		付した。
		(2) 国民体育大会帯同サポート
		北信越国体 24 名、本国体 36 名、冬季国体 3 名
		(3) 第6回福井県スポーツ医科学研究大会
		平成 29 年 11 月 26 日 福井商工会議所 166 名参加
2	研修会等	国体選手を中心にドーピング防止教育・啓発活動を実施し、健全
	開催事業	なスポーツ活動の普及啓発を図った。
		(1) アンチ・ドーピング講習会 2回 約 450 名
		(2) アンチ・ドーピングガイドブック配布 650 部
		(3) アンチ・ドーピング出前講習会 13 競技 約 1,000 名

4 1県民1スポーツ推進事業

①県民スポーツ祭開催事業

県民の多様なスポーツニーズに応え県民総スポーツを推進し、県下一円において 69 競技・種目による「`17 県民スポーツ祭」を開催した。

大会名	開催地	大会期日	参加者総数
`17 県民スポーツ祭	県下一円	平成 29 年 4 月~平成 30 年 1 月 総合開会式: 4 月 8 日	44,311名

②スポーツ体験事業

「1県民1スポーツ」の理念を推進

区分	開催地	開催期日
みんなでスポーツフェスタ	福井県営体育館	平成 29 年 4 月 8 日
はぴりゅうフェスタ (スポーツ体験ブース)	サンドーム福井	平成 29 年 12 月 9 日~10 日

5 関係団体育成事業

	事業名	内容
1	社会体育振興	本会加盟の 17 市町体育協会・48 競技団体が県下各地域、各競
	事業	技・種目毎に行うスポーツ普及振興事業に対して助成を行った。
2	総合型地域ス	生涯スポーツ社会の実現に向けクラブアドバイザーを配置し、
	ポーツクラブ	県広域スポーツセンターと連携して総合型地域スポーツクラブ育
	育成推進事業	成を推進した。
		県内クラブ数 27 クラブ
3	スポーツ指導	(公財) 日本体育協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促
	者協議会育成	進を図り、福井県スポーツ指導者協議会の育成・発展を推進した。
	事業	スポーツ指導者協議会 会員 2,113名

6 スポーツ指導者育成事業

	事業名	内容
1	指導者養成	(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、指導
	講習会事業	者の公認資格取得を推進し、県内各地のスポーツ指導現場で活躍
		できる指導者を養成した。
		(1) バスケットボール指導員
		平成 29 年 12 月~平成 30 年 2 月 (5 日間) 3 名
		(2) アシスタントマネジャー
		平成 29 年 10 月 28 日~29 日 13 名
2	指導者研修会	県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図り、研修会を開
	事業	催した。
		(1) 平成 29 年 11 月 25 日 21 名
		(2) 平成 30 年 2 月 25 日 242 名

7 スポーツ少年団育成事業

平成 29 年度は、517 団、団員 10,282 名、指導者 2,680 名が登録され、青少年の健全 育成に大きく貢献している。

主な事業として、県スポーツ少年大会の開催をはじめ、指導者の養成と資質向上ならびに母集団の組織整備等を推進した。

	事業名	内容	備考
1	第 44 回	スポーツ活動を中心に、相互の文化・習慣	派遣団員2名
	日独スポーツ少	等に触れる交流・研修により、参加者の国際	
	年団同時交流	性の高揚と両国の親善を図った。	
		平成 29 年 7 月 31 日~8 月 17 日	

2	第 53 回	県下のスポーツ少年団員が一堂に集まり、ス	参加者
	福井県スポーツ	ポーツ活動を通じて団員相互の交流を深める	127 チーム
	少年大会	等を目的として、勝山市、大野市において開催	団員 1,445 名
		(県民スポーツ祭の小学生の部) した。	指導者 537 名
		開催期日:平成29年9月3日	
		開催競技:5 競技+ニュースポーツ体験	
		サッカー、ミニバスケットボール、柔道、	
		ハ゛ト゛ミントン、 ハ゛レーホ゛ール、ニュースホ゜ーツ	
3	指導者および育	スポーツ少年団指導者および団員保護者・ス	参加者
	成母集団研修会	ポーツ少年団認定育成員を対象とした研修会	65 名
	兼 認定育成員	を開催した。	
	研修会	期日:平成 29 年 9 月 23 日	
		場所:福井県営体育館	
4	スポーツリーダ	地域住民のスポーツの生活化・定着化を促進	参加者
	一養成講習会	するスポーツリーダーの養成とスポーツ少年	198名
	兼 スポーツ少	団認定員の養成を図った。	
	年団認定員養成	(1) 平成 29 年 10 月 14 日~15 日 鯖江市	
	講習会	(2) // 10月21日~22日 永平寺町	
		(3) // 11月3日~4日 坂井市	
		(4) // 11月11日~12日 小浜市	
		(5)	
5	幼児期からのア	幼児期からのアクティブ・チャイルド・プロ	参加者
	クティブ・チャ	グラムの周知・普及することを目的として研修	37 名
	イルド・プログ	会を開催した。	
	ラム普及推進研	(1) 平成 29 年 10 月 28 日 大野市	
	修会	(2) // 12月16日 敦賀市	
		(3) " 2月4日 鯖江市	

8 広報・情報提供事業

	事業名	内容
1	広報普及活動事	国際大会や国民体育大会等における本県選手の活躍および各
	業	種表彰等についての広報活動に努めた。
		体協ニュース 1,700 部×3 回
2	スポーツ情報公	公式ホームページにより各種情報を公表した。
	開事業	(1)組織、事業概要等
		(2)国体等のタイムリーな結果報告

9 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

	表彰名	対象者	受賞数	
1	体育功労者賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力	30名	
		し、功績が顕著な個人		
2	優秀選手賞	福井県民または本会加盟団体登録者および県	200名	
		内高等学校出身の大学生であり、全国大会なら		
		びに国際大会で優秀な成績を収めた者		
3	優秀指導者賞	前項②の優秀選手を育成した指導者 5名		
4	国民体育大会賞	その年の国体で天皇杯および皇后杯得点に貢	団体 26 団体	
		献した競技団体、監督、選手	個人 275 名	
(5)	特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力 個人1名		
		し、特に顕著な功績を残した個人、団体		

10 その他

- ①都道府県体育協会連合会事務局職員研修会の開催
- ②全国大会ならびに各種ブロック大会の後援
- ③安全管理の強化の取り組み
 - ・国民体育大会参加者傷害補償制度への加入促進
 - ・加盟団体の賠償責任保険への加入促進
 - ・スポーツ安全保険への加入促進

区 分	団体員数	内 Web 加入数	対 象 団 体
A1 · AW	31, 667	15, 498	中学生以下の子ども
A 2	3, 613	1, 278	高校生以上の文化活動団体
В	4,646	581	老人などのクラブ
С	18, 713	7, 471	高校生以上のスポーツ活動団体
D	0	0	危険度の高いスポーツ活動団体
短期スポーツ教室	185	185	
合 計	58, 824	25, 013	